

多摩川クルーズの提案

多摩川を、国内外の方々に訪れて楽しんでいただくために、ふれあい機能の向上と魅力の発掘提供が必要だと考えます。そこで、水陸両用車を使い多摩川とその周辺を周遊するクルーズを企画提案しています。



メガシティ東京の中心に、自然豊かで心安らぐ多摩川があります。この多摩川を、国内はもちろん世界の方々に訪れていただき、楽しんでいただくために、ふれあい機能の向上と魅力の発掘提供が必要だと考えます。

そこで、多摩川とその沿川を周遊するクルーズを企画し、水陸両用車を走らせてクルーズが成立するかどうか、市民の皆様参加を得て、まずは、川崎市側で実験をしたいと考えます。川面に降りるスロープが整備される前は、多摩川緊急河川敷道路を利用します。

そしてオリンピック・パラリンピックには、国際戦略拠点のキングスカイフロントと羽田空港跡地区画整理、それを結ぶ連絡道路が完成することから、地域のまち開きイベントの一つとして、多摩川クルーズが取り上げられることを期待します。

監修：水・防災機構副理事長 相見 寛 作成協力：パシフィックコンサルタンツ（株）

多摩川クルーズのイメージ

ライフ & サイエンスクルーズ
川崎駅→キングスカイフロント→大師→
(多摩川)→河港水門→味の素→川崎駅

キャナル & テクノクルーズ
川崎駅→大師→(多摩川・多摩運河・川崎池)→大師→川崎駅

スポーツ & AIクルーズ
川崎駅→IT工場・事業所等々力緑地
→丸子→(多摩川)→戸手→川崎駅



川崎・多摩川クルーズのイメージ



- 多摩川クルーズの区間は、高規格の防衛整備が推奨されているところです。
- あわせて、主要道路と緊急用河川敷道路の結節点周辺部では地域防災活動拠点整備が求められているところです。